

FUSO

magazine

NO.78
2022 05/06
May-Jun.



[開発秘話]

トラックコネクと ワイズ・システムズのソリューション

[Our Philosophy]

SGムービング株式会社

[キャビンからの風景]

世界遺産を走る

- ・進むドライバー不足の解決に向けた取り組み
- ・止まらぬ原油高その背景と影響
- ・eCANTERが行く



CONTENTS

- 3 Our Philosophy | 私たちの哲学
SGムービング株式会社
- 6 キャビンからの風景
世界遺産を走る
- 10 三菱ふそうの「トラックコネクト」と
「ワイズ・システムズ」が提供するソリューション
- 12 [特集]
トラックドライバーの不足
その現状と解決に向けた動き
- 14 トレンドウオッチ
物流業界を直撃する原油高
- 15 スペアタイヤ、ツールボックスの点検
3か月ごとの定期点検に義務付けられています
- 16 eCanterが行く
未来に向けて走るeCanter
- 17 FUSOインフォメーション
- 18 Good for 遊 きょうは何の日
- 19 Coffee Break & プレゼント



FUSO

magazine

| No.78 | 2022 05/06 May, Jun.

表紙Photo : eCanter

©FUSO magazine 本誌掲載の
記事、写真、イラスト等の無断複写、
転載を禁じます。



「選ばれる会社」を目指して取り組みを加速

循環型社会の実現へ、新たな物流サービス事業を創造する



OUR PHILOSOPHY

— 私たちの哲学 —

SGムービング株式会社

東京都

代表取締役社長 **角本 高章**

SGムービング株式会社(本社・東京都江東区)は、佐川急便を中核とするSGホールディングスグループの一員。

オフィス移転から大型家具・家電の輸送・設置など、さまざまな輸送サービスを展開している。

就任2年目を迎える同社代表取締役社長角本高章氏は、循環型社会実現に向けた物流サービス事業を推進している。

同社は2019年に国内初の量産型電気小型トラック「eCanter」を導入、さらに拡充を予定しているが、

環境への取り組みについて、角本社長の考えやビジョンを聞いた。

OUR PHILOSOPHY

SGムービング
株式会社

東京都



「輸送+α」のサービスで 新しい価値を提供

設立当初からこれまでの歩みについてお聞かせください。

元々は引越し事業から始まりましたが、繁閑の差が大きく、かつ同業他社との競争が激しい分野であることから、徐々にBtoBを得意とするSGホールディングスグループの強みを活かした事業展開へシフト・拡大していきました。現在の事業の柱は、オフィスや自治体庁舎の移転、大型物流倉庫の移転や大型家具・家電の輸送・

設置などです。

ここでの私たちの優位性は、「輸送+α」の付加価値サービスを展開していることです。例えば、オフィス移転を例に挙げると、モノを運ぶだけでなく、オフィス家具の販売からオフィスのデザイン設計まで、一貫貫貫でコーディネートしています。こうした「輸送+α」のサービスを、北海道から沖縄まで全国規模で対応できるのが強みです。

動脈物流から静脈物流の 流れを自らつくり出し、 「選ばれる会社」へ

貴社が今、最も注力していることをお聞かせください。

当社は急成長を継続している会社です。サービスのラインナップも、エアコン取付工事から美術品輸送、移転コンサルまで非常に幅広く、ポテンシャルも高いと自負しています。そんな中、さらに「選ばれる会社」へと成長していくためには、私たちが何を強みとし、何を目指し、どこに向かっているのか、すなわち企業としての方針を明確にし、それを社内外に伝えていくことが重要だと考えています。

私たちの企業としての方針は、生産物を消費者に輸送する物流、いわゆる「動脈物流」から、消費者から生産者側に向かう物流、いわゆる「静脈物流」まで、環境に配慮



したサービスを展開していくことです。例えば、家電を販売する小売業者と、リサイクル法指定4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)の回収を請け負う収集運搬業者とのオンライン上でのマッチングシステム「SG-ARK」をスタートさせたのもその一環です。この、家電リサイクル関連業務を円滑化するシステムは、現在、関係省庁や家電リサイクルセンターのご協力のもと、回収業務を展開し、高い評価をいただいています。

動脈物流から静脈物流の流れをSGムービングでつくり出し、グループ全体で循環型社会に貢献していくこと、その先にあるのが、私たちが目指す「選ばれる会社」の姿です。

環境に与える影響が大きい事業 だからこそ、やるべきことがある

その他の貴社の「環境への取り組み」を教えてください。

私たちのビジネスは、公道を利用していただけて成り立っています。だからこそ、私たち自身がCO2削減を推進したり、環境に配慮した車両や資材を使ったりすることは非常に重要なことだと考えています。環境省が実施している「エコアクション21」の活動への参加、FSC認証の資材の積極的な活用もそうした考えから行っているものです。また、新卒入社に従業員に

佐川急便が所有する「高尾100年の森」での森林保護活動に参加してもらい、環境に対する意識向上にも努めています。

そうした中で、グローバル企業で世界最大の家具量販店でもあり、環境問題への意識が非常に高いイケア・ジャパン様から、「EVトラックの導入を考えてほしい」とのご要望がありました。私たちとしても「脱炭素」は喫緊の課題であり、願ってもないことでした。その後、協議を重ね、2019年にゼロエミッションという大きな目標に向けて取り組んでいこうと合意しました。三菱ふそうさんからEVトラック・eCarterが発売されたのはちょうどその1年前。以前からお付き合いがある中で、採用に向けたご提案を受け、2台を導入しました。



優れたEVトラックを 積極導入し、共に環境への 取り組みを加速させていきたい

「eCarter」のご感想、ご要望をお聞かせください。

導入後2年が経ち、CO2削減や燃料費の低減など、目に見える効果が表れています。また、ドライバーからも、「非常に静音性に優れている一方、力強いトルクで推進力があり、ストレスなく運転できる」と評価は上々です。

さらに導入して良かったと思うのは、お客様からの評判が高いことです。オフィス移転などでお客様に荷物をお届けに上がった際に、eCarterを使用していると、「EVトラックを、もう入れているんですね」と感心していただけます。また、それがきっかけで、「EVトラックで納品してくるなら、他のお仕事もお願いしたい」と



eCarterはドライバーからも好評だ。

いう次の展開につながることもあり、大きな宣伝効果にもなっています。

一方、現時点での課題は、一度の充電での走行距離が約100kmであることです。しかし、これは今後の技術革新によって改善されるはずですが、また、国内の充電スポットの拡充に関しては、三菱ふそうさんだけの問題ではありません。私たちも一緒に働きかけをしながら推進していきたいと思っています。

さらに「eCarter」の安全機能の充実はもちろん、デザインやスタイルの魅力も今後も追求してほしいと思っています。佐川急便のセールスドライバーとして勤務していた頃、三菱ふそうさんの大型トラック・スーパーグレートに乗っていて、すごく素敵なトラックだなと感じていた私としては、大いに期待しています。

COMPANY DATA



SGM-ビープ株式会社

代表取締役社長：角本高章／創業：昭和63年10月
社員数：546名(3月21日時点)／保有車両台数：103台

「輸送+a」を掲げ、オフィス移転から大型家具・家電の輸送・設置など、さまざまな輸送サービスを展開。的確な提案力と付加価値の創造で、お客様の多様なニーズに応えている。

世界遺産を走る

世界遺産は、1972年のユネスコ(国際連合教育科学文化機関)総会で採択された世界遺産条約の中で定義されたもので、世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。世界遺産には文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つがあり、日本では25件の世界遺産が登録されています。そのうちのいくつかを紹介します。

北海道



知床

世界自然遺産

登録:2005年

流水から始まる生命の環

北海道の北東に位置する知床には、2月中旬から3月中旬に流水が接岸。流水は多くの栄養を含み、その恵みがプランクトンを増やし、それが小魚や甲殻類の餌となり、それらをトドや鯨類といった哺乳類が捕食するという特異な生態系が形成されています。知床のある羅臼町と斜里町を結ぶ「知床横断道路」は、11月から4月まで積雪で通行止めになるため、日本一開通期間の短い国道と言われています。知床連山の南東側が羅臼町、西側が斜里町で、知床では海の幸を堪能できるだけでなく、夏になるとホエールウォッチングやヒグマウォッチング、トレッキングなど豊かな自然を舞台にしたアクティビティを楽しむことができます。

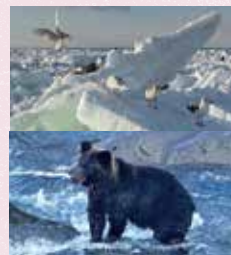
SPOT

知床半島を代表するスポットの一つは知床連山の中にたたずむ知床五湖。ヒグマやキタキツネなど多くの野生動物が生息しています。園地内施設の営業期間は4月20日から11月8日まで。詳細は知床五湖フィールドハウスのホームページでご確認ください。



TOPICS

北海道が運営するホームページによると、知床の豊かな川や海の魚の種類は303種で、植物は知床と北方領土にしか生えていないシレットコスミレなど872種。そして知床に生息する動物と鳥は333種類。エゾシカやヒグマは北海道だけにすむ動物です。



岩手県

平泉—仏国土(浄土)を表す 建築・庭園及び考古学的遺跡群

文化遺産

登録:2011年

黄金の国・ジパングで 理想世界を実現

平泉は奥州藤原氏の拠点として、仏教に基づく理想社会の実現を目指して造営され、平安時代の末期に、京都に次ぐ日本第二の都市として約100年にわたり栄えました。奥州藤原氏の栄華を支えたのは、東北各地で産出する金でした。イタリアの商人だったマルコ・ポーロが13世紀末に「東方見聞録」で日本を黄金の国・ジパングと紹介しましたが、東北の金山に関して中国で聞いた話が元となっているのではないかとされています。平泉へは東北自動車道の平泉前沢ICから車でおよそ5分。金色堂で名高い中尊寺や毛越寺、無量光院などの世界遺産の構成資産である遺跡群はいずれも半径1キロほどの範囲内にあります。

TOPICS

奥州藤原氏に庇護されていた源義経は平氏打倒に挙兵した兄・頼朝に合流し武功を立てるもその後の確執から平泉に逃亡。当主の藤原泰衡に攻められ自害しました。平泉には義経ゆかりの場所もあり、熱心なファンたちが訪れます。



SPOT

世界遺産への登録で注目された富岡製糸場ですが、養蚕農家は激減しています。技術と文化を継承するために設立された富岡シルクブランド協議会が、生産者から製造・販売業者までの連携を強化し、富岡市でしか作れない富岡シルクの生産に取り組んでいます。



富岡製糸場と 絹産業遺産群

文化遺産

登録:2014年

生糸を世界へ 高品質で高い評価



群馬県

鎖国政策から開国へと舵を切った明治新政府は、最大の輸出品である生糸により、外貨の獲得を目指しました。生糸を輸入する諸外国から、品質の改善などが要望され、政府は模範となる工場を建設することを決めました。西洋の技術を取り入れ、フランス人による指導を受けた富岡製糸場は世界最大規模を誇り、高品質の生糸は海外から高く評価されました。敷地全体が国定指定史跡となっている富岡製糸場は、関越自動車道の富岡ICから車で約10分。1987(昭和62)年に操業は停止したものの、大切に保存されてきたため1872(明治5)年に設立された時とほとんど変わることのない様子を見ることができます。

京都市
宇治市
大津市



TOPICS

観光シーズンの京都で問題となるのは交通渋滞です。高速道路を出るのに一時間近くかかることもあり、市内に入っても人気のスポットでは混雑は避けられません。もちろん配送にあたるトラックドライバーにとっても時間を読むことが難しい、頭の痛い季節です。



古都京都の文化財

文化遺産

登録: 1994年

長い歴史を物語る文化財

京都は平安時代から江戸時代までの各時代を代表する建築、庭園、文化的な背景を今に伝えていることなどから全17件が世界遺産に登録されました。そのうち延暦寺が大津市にまたがっているため、また、平等院が宇治市にあるためそれぞれが登録地域に含まれています。世界遺産を構成する金閣寺、清水寺、銀閣寺、二条城などのスポットはいずれも多くの人々が訪れる名所ばかりです。それぞれに国宝や文化財などがあり、とても一日では回りきることはできません。国際的に人気の高い京都ですが、コロナ禍の影響で海外から訪れる人は激減していて、観光産業も大きなダメージを被っています。一日も早い終息が待たれるところです。

SPOT

世界遺産とされている構成資産の中で城郭は二条城だけです。城内全体が国の史跡にも指定されていますが、徳川幕府初代将軍の家康が創建し、最後の将軍・慶喜が大政奉還を表明した二条城は、徳川幕府の始まりと終わりに関わった、まさに歴史的な建造物です。



長崎県

**長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産**

文化遺産

登録:2018年

**信仰を密かに継続した
キリシタンたち**

1614(慶長19)年、徳川家康は各地に広まったキリスト教の禁教令を出し、宣教師を国外に追放、信者には改宗を迫りました。国内のキリスト教徒は弾圧され殉教するものも多く、信徒であるキリシタンはおよそ250年にわたり潜伏せざるを得なくなりました。キリスト教の伝来期から宣教が行われた長崎と天草地方では、信者たちは独自に信仰を実践する方法を探り、日本の伝統的宗教や社会と共生しながらさまざまな形で信仰を続けていきました。世界遺産に登録された構成資産の中のひとつである平戸にも多くの教会や潜伏キリシタンたちの聖地がありますが、博多からは高速道路でおよそ2時間の道のりです。



SPOT

1854(安政元)年、日本の開国により来日した宣教師は世界遺産の構成資産にもなった大浦天主堂を建て、そこで潜伏キリシタンたちからの告白を聞きました。しかしその後も弾圧が行われ、最終的にキリスト教が解禁されるのは1873(明治5)年でした。



奈良県



TOPICS

法隆寺地域の仏教建造物は姫路城とともに日本初の世界遺産として登録されました。奈良県には、ほかにも東大寺や興福寺、薬師寺などの「古都奈良の文化財」と、和歌山県、三重県とまたがり「紀伊山地の霊場と参詣道」という世界遺産があります。

**法隆寺地域の仏教建造物**

文化遺産

登録:1993年

**現存する世界最古の
木造建築群**

日本には8世紀以前に建立された建造物が28棟残っていて、そのうち11棟が法隆寺地域にあります。法隆寺は607年に創建されましたが、その後焼失し、7世紀後半に再建されました。五重塔など4つの建物が現存していて、飛鳥時代の建築様式を今に伝える世界最古の木造建築物です。また登録されたものには、同じく7世紀に建立された法起寺も含まれています。法起寺には三重塔のみが現存していますが、仏教が伝来した初期の建造物であり、法隆寺西院建造物と共通する特徴を備えています。壮大な歴史の物語を体感できる法隆寺には、西名阪自動車道の「法隆寺IC」で下車。大阪からは50分ほどのところにあります。



三菱ふそうの「トラックコネクト」と「ワイズ・システムズ」が提供するソリューション

三菱ふそうは、トラックの運行状況を把握する「トラックコネクト」や、次世代の配送計画システム「ワイズ・システムズ」の販売を通じて、物流業界が持つ課題へのソリューションを提供している。注目されるそれらの取り組みを紹介する。

24時間体制でお客様をサポートする「トラックコネクト」

日々の走りの中で蓄積されていく、稼働中のトラックの車両情報をインターネット経由でリアルタイムにチェックするサービスが三菱ふそうの「トラックコネクト」だ。PCやスマートフォンから専用ページを通じて利用することができる。

24時間365日のサービスサポートにより、運行管理者は、情報を瞬時に把握し、パフォーマンスを効果的に分析することで、より効率的な車両の稼働やトラブル対応、ドライバーの安全性向上などに役立てることができる。



トラックコネクトは次の五つの情報を監視することで輸送ビジネスをサポートする。

「位置・軌跡情報把握」は、稼働車両の現在位置、軌跡を地図に表示。また、事前登録したエリアに出入りした時にもリアルタイムで通知が可能になる。

「安全運転情報」は、ドライバーの急制動、急発進などをリアルタイムで感知することができる。ここ3か月間の運転状況を保存できるため、改善のためのトレーニングなどドライバーの危険運転の予防を可能にする。



「位置・軌跡情報把握」画面。安全運転、停車位置情報をいつでもPCやスマートフォンから確認、追跡できる。

車両の稼働状況を「見える化」

「燃費把握」は保有車両の月ごとの実燃費を自動的に計算でき、燃費情報を日にちごとや月単位で各車両レベルまで直感的に確認することができ、燃費効率向上につながる。

「車両管理」は保有車両の走行距離、停車時間、アイドリング時間の記録をもとに、稼働情報を可視化することでデータ管理を行う。車両別の稼働率比較なども可能だ。各車両の先月のデータとの比較も可能で、稼働率向上のきっかけともなる。



車両管理は月別のレポートもPDF形式でダウンロードでき、車両データなどをドライバーと共有。

「遠隔診断」はトラックから発信される各種の情報を24時間365日対応のサポートセンターでモニタリングすることで、万が一の車両トラブル時に運行管理者にリアルタイムで連絡し、サービス提供の段取りや、予後・予防メンテナンスなど車両稼働をサポートする。



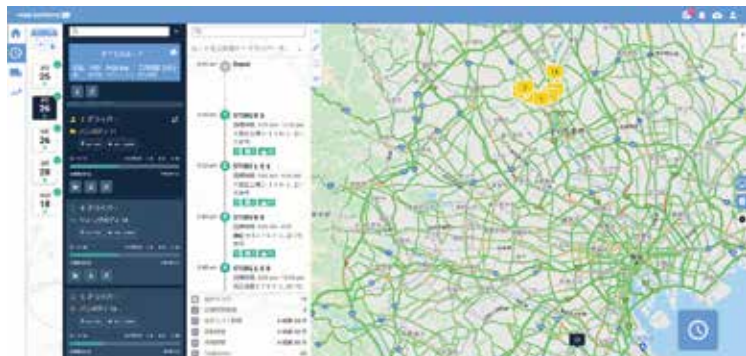
故障を知らせるDTC(診断トラブルコード)を検知してリアルタイムに通知

車両の稼働状況を「見える化」するトラックコネクタは幅広く活用が可能でお客様の要望に応じてサービスは随時更新予定。今後の進化も楽しみだ。

利用にあたっての詳細情報についてはお近くの販売店や販売員にお問い合わせを。三菱ふそうではトラックコネクタを年間契約で提供しているが、利用料金をご契約から3年間、無料としている。

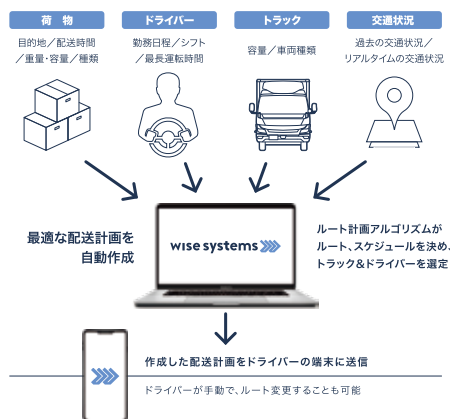
ブランドの垣根を超えて販売「ワイズ・システムズ」

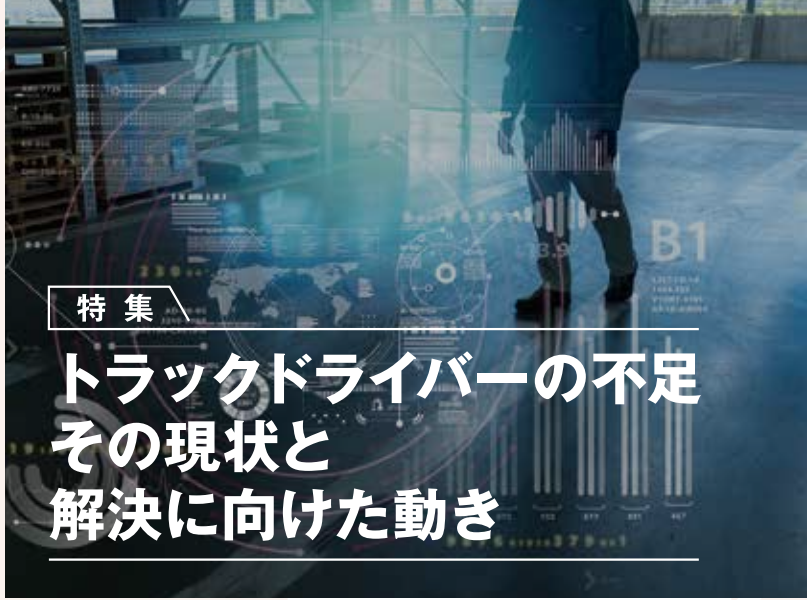
三菱ふそうでは、トラックコネクタをすべての新型車両に搭載しているが、車両自体の管理だけでなく、物流・配送プロセスに関わるニーズに対応するために、2021年7月、アメリカのWise Systems社との業務提携を締結し、同社が開発した次世代配送計画システム「ワイズシステムズ」の販売を始めた。



世界中で導入され信頼を得ているワイズ・システムズは、パーフェクトな配送業務を可能にするAIベースの配送計画自動化ソフトウェアを提供している。

ワイズ・システムズでは、配送担当者は日々の配送計画に要する時間を短縮できるほか、配送状況を可視化することで車両の稼働や配送状況をリアルタイムで把握できる。ドライバーはスマートフォンアプリで、配送計画の確認や荷物の配達完了通知を簡単に実行でき、荷物を受け取るお客様も、配送状況をリアルタイムで把握し、到着予定時間もあらかじめ把握することが可能になる。三菱ふそうでは、FUSOブランドのトラックだけではなく、ブランドの垣根を超えて販売を行っている。





特集

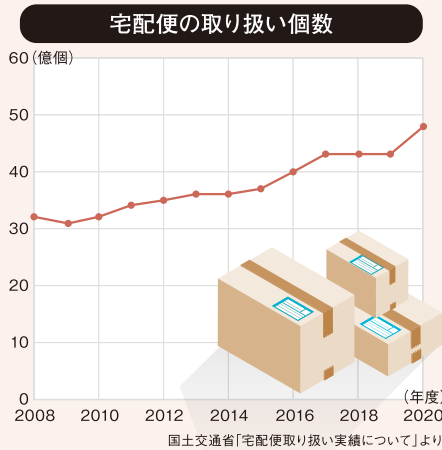
トラックドライバーの不足 その現状と 解決に向けた動き

日本の物流を支える トラックドライバーだが

総務省の家計消費状況調査によると、ネット通販はコロナ禍においても好調が続き、支出額、利用世帯数ともに年々増加しています。物流業界ではネット通販の取扱量が増加する一方で、これらの商品輸送を担うトラックドライバーの数は減少傾向にあります。

トラック運転者不足の背景には何があののでしょうか？

ハローワーク（公共職業安定所）に申し込まれた求人数を、求職者の数で割った値



を有効求人倍率といいますが、有効求人倍率は高い方が仕事は探しやすく就職しやすいということ、別の見方をすると、有効求人率が高いほど人手不足だということになります。厚生労働省の調査によると2021年5月の時点でトラック運転手の有効求人倍率は1.88倍で、全職業の0.94倍の約2倍も高くなっています。

トラックドライバー不足の理由として、

厚生労働省は労働時間の長さや年間所得の低さを指摘していますが、免許制度の改定が空振りに終わったことも原因ではないかという声もあります。2017年からこれまでの普通免許と中型免許の間に準中型免許が誕生。18歳以上なら取得できるため高校卒業時から小型トラックの運転が可能になり、若者がトラックドライバーになる道が広がるのではと期待されましたが、取得費用の高さなどからこの免許の取得者数は低水準のままで推移しています。

こうした状況の中で、物流に関わる企業や、政府、業界団体が支援制度を作る動きが活発に。また、三菱ふそうではドライバーにやさしいトラックの開発などを通じて、それぞれ解決に向けた動きを始めています。

国土交通省の 「トラガール促進プロジェクト」

政府の取り組みとして注目されているのが国土交通省の「トラガール促進プロジェクト」です。物流業界では女性の進出が遅れていると指摘されてきましたが、このところ女性ドライバーの活躍に注目が集まるようになってきました。とはいえ、平成25年の総務省「労働力調査」ではトラックドライバーの女性比率は2%程度（約2万人）にとどまっています。一方で、警察庁の調べでは、大型免許を保有する女性は全国に13万4千人以上、潜在的なドライバーは一定程度いることも明らかになっています。しかし、女性だからという理由で就職を断られたり、配送先等に女性用のトイレがなかったりなどの声があり、採用をする企業側の意識改革や、労働環境の整備が求められています。そこで国土交通省は、トラガールを目指す女性の道しるべとして、また経営者や荷主に新たな視点を提示し業界のイメージ改革を図ろうとしているのです。



三菱ふそうの 環境問題への取り組み

トラック製造メーカーの取り組みも進んでいます。三菱ふそうでは、EVトラックの開発や、ディーゼル車の排出ガスの低減などを通じた環境負荷の少ないトラックを市場に投入しています。ただ製造過程だけの取り組みや、そうしたトラックの性能だけではなく、製品のライフサイクルの全ての段階で環境への影響を予測評価した取り組みです。こうした行動は地球環境に寄与するのはもちろんですが、トラックドライバーの仕事に関心がある人たちの共感を呼ぶ可能性もあります。

三菱ふそうは、国内初の量産型電気小型トラック e-Canter を発売していますが、CO₂や汚染物質のない、そして騒音問題の解決にも貢献するトラックです。e-Canter

は、環境問題への対応だけでなく、振動も少なく「疲労が大きく軽減される」という声からトラックドライバーから寄せられています。環境にもドライバーにもやさしいトラックだといえるでしょう。

ドライバーにやさしいトラックは働く環境を大きく変える可能性があります。マニユアル車が多数を占めるトラックに、三菱ふそうは、より運転しやすく、より経済性に優れたトラックをお届けするためにトルコン式ATのイージードドライブと、MTの省燃費性をハイレベルで引き出すデュアルクラッチ式AMT「DUNIC 2.0」を採用。変則シヨックのないスムーズな加速、微速走行時の速度コントロールもブレーキ操作だけでOKのクリープ機能など仕事の効率化を促進するさまざまな機能に加え、省燃費がはかれる「エコモード」も装備しています。



01

TOPIC

厚労省の取り組み

厚生労働省は、就職氷河期世代の方の正社員就職を支援するため、「短期資格等習得コース」事業の一環としてトラックドライバーになるための運転免許取得支援プログラムを開始しました。日本トラック協会がトラックドライバーに必要な大型・中型・準中型免許の取得から、座学講座などによる業界知識の取得、職場見学、職場体験などを組み合わせた業界への就職を、一部の経費を除き、無料で支援するものです。対象となるのは35歳から54歳のいわゆる就職氷河期世代の方々です。詳しくは全日本トラック協会のホームページ内にある「就職氷河期世代」就職支援のコーナーでご確認を。



GOVERNMENT



02

TOPIC

企業のサポート

物流業界の各企業もトラックドライバー不足への対応を進めています。ドライバーの高齢化が進む中、その方々が現役を退いてしまうと今後のドライバー不足はますます深刻になるため各企業とも若い世代の確保が急務です。未経験者採用のための免許取得をサポートする企業が増えていて、中には新卒者に運転免許そのものの保有の有無も採用の条件とせず、採用後に免許取得をサポートするところも現れています。また、業界内ではまだ若手と言える40歳前後の普通免許を保有している人を対象に、中型免許の取得支援をうたってドライバーを募集する企業も目立つようになっています。

COMPANY

物流業界を直撃する原油高 その背景と見通しは？

産油国の供給不安などから上昇傾向にあった原油価格は、オミクロン株の感染拡大、そしてロシアのウクライナへの軍事侵攻で急騰。さまざまな影響が物流業界にも出ています。



from LOGISTICS

求められる物流業界の対応

原油価格の高騰は物流業界に大きな影響を与えていて、政府はさまざまな対策を立て、トラック協会なども燃料の高騰を運賃に反映する「燃料サーチャージ」への理解を求めたり、高速道路料金の値引きなどを求める取り組みを行っています。一方で、燃料性能の優れた車両の導入や、燃料消費量の削減のためにドライバーを適切に評価する取り組みを行うために車両運行システムの導入などの対応をすることが求められます。

止まらぬ原油高。その背景は

ロシアによるウクライナへの侵攻をきっかけに、原油価格の代表的な指標の一つであるWTI(テキサス産軽質油)の先物価格は約7年ぶりに1バレル100ドルの大口を突破。2008年の史上最高値147ドルどころか、場合によっては200ドルまで上昇する可能性も指摘されています。今回の原油高は、ロシアのウクライナへの

侵攻による経済制裁でロシアからの石油供給が滞ること、脱炭素の流れのために油田開発への投資が減少していくこと、ポストコロナで予想される経済回復の加速により世界全体での石油需要の急回復が予想されること、産油国の原油供給能力の不足や増産への意欲がないことなどが絡み合っているものと見られています。

影響を受けやすい日本 物流業界の対策は

日本のエネルギー自給率は11.8%(2018年)に過ぎず、石油などの化石燃料への依存度は85%前後もあり、原油価格の高騰は大きなダメージとなり、物流業界にも大きな影響があります。政府は原油価格高騰に対する緊急対策を打ち出している、原油高が燃料高に直結するトラック運送に関しては、燃料の価格上昇分が適正に運賃に反映されるよう荷主企業等に対し理解と協力を呼びかけ、不当な運賃の据え置き等に対し、働きかけ、勧告、公表等の必要な対応を行うほか、中小企業は資金繰り支援なども打ち出しています。

多くの予想は 今後も高値圏で展開

原油高の今後はどうなるのか。ロシアのウクライナ侵攻の前後から発表されているレポートなどを見ると、当面は高値

脱炭素社会へ難しいかじ取り

エネルギーの主役として、世界経済の発展に欠かすことのできなかった石油ですが、地球温暖化の主要因とされ、いずれ再生可能エネルギーへ主役を渡すことになりそうです。原油高は大問題ですが脱炭素社会への転換も待たない。各国政府は、当面は原油高への対応を検討しながら、持続可能な未来に向けての歩みを確実にしていくという、難しいかじ取りを迫られています。



圏が続くとの見方が多くなっています。原油価格はロシアのウクライナ侵攻に対する懸念が具体的でなかった頃から上昇基調にあり、ロシアの原油は今後も経済制裁の影響で供給が滞ることが予想され、石油輸出国機構加盟国とロシアなどの非加盟国で構成する「OPECプラス」も増産には消極的です。そのため原油価格が落ち着くまでには時間がかかりそうです。

スペアタイヤの点検、 ツールボックスの点検が 3か月ごとの定期点検に 義務付けられています

車両総重量8トン以上のトラック（トレーラー）と、乗員定員が30名以上のバスを対象に、スペアタイヤの点検、ツールボックスの点検が道路運送車両法に基づく「自動車点検基準」で使用者に義務付けられています。事故防止のために点検と適切な整備をお願いします。

点検の結果は、
必ず記録簿に記入します。

点検項目と実施方法

スペアタイヤ

（フレームやボディーなど、車外に取り付けられているスペアタイヤ）



1 スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷

スペアタイヤを取り外し、次の点検を行います。

- 1 スペアタイヤ取付装置の取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。
- 2 スペアタイヤ取付装置に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、がたがないかを手で揺するなどして点検します。さらに、損傷がないかを目視などにより点検します。
- 3 スペアタイヤのディスク・ホイールについて、ボルト穴や飾り穴の周り及び溶接部に亀裂及び損傷がないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤ取付装置とディスク・ホイール合わせ面に摩耗や損傷がないかを目視などにより点検します。

2 スペアタイヤの取付状態

スペアタイヤを取り付ける際に次の点検を行います。

- 1 スペアタイヤ取付装置のハンドルが円滑に回ること及び吊上チェーンにねじれやひっかかり、さび等がないことを確認し、規定トルクで締め付けます。
- 2 スペアタイヤを取り付けた後、スペアタイヤに異常な傾きがないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤの取付けに緩みがないかをスペアタイヤを強く押すなどして点検します。

ツールボックス

（フレームやボディーなど、車外に取り付けられた工具箱や資材入れ等）



3 ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

ツールボックスの取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。



未来に向けて走るeCarter 東京・品川で際立つ その走りと環境性能



東京都の品川駅周辺を走るeCarter。静粛で、排出ガスの出ないゼロ・エミッションの走りは市街地での深夜・早朝稼働のニーズにも応えます。

eCarterは国内初の量産型小型電気トラックです。EVトラックのイメージを大きく変える異次元の走行性能とドライバーの負担を軽減する低振動、そして街の景色に映えるeCarter。今回は東京を代表するビジネス街品川を走りました。

江戸の玄関口から 世界につながる街へ

品川は鎌倉時代には江戸湾の港として、江戸時代には江戸から京都に向かう東海道の最初の宿場町として賑わいました。この時代に東海道などの五街道や宿場が整備され、交通手段として飛脚による輸送や通信の制度が発達しました。江戸から東京までは約490キロ。普通の人なら2週間ほどの道のりですが、飛脚たちはリレー形式で3日から4日で運んだと言われています。



今では、品川は高級ホテルや高層ビルが立ち並びビジネス街へと姿を変えましたが、品川駅は新幹線の停車駅、将来的にはJR東海が工事を進めるリニア中央新幹線の始発駅となる予定です。また、羽田空港も至近距離にあるため交通の要衝として発展を続けています。江戸の玄関口だった品川は今では世界につながる街となったと言えるでしょう。

開発が進む街で 真価を発揮するeCarter

ビジネス面での高い利便性から多くの企業の進出が進み、商業施設、お出かけスポットや数多くの公園、そして小学校などの教育施設も充実しているため、品川はそこで暮らす人にとっても魅力的な街となっています。

こうした商業施設やオフィス、住宅が集積する場所であり真価を発揮するのがeCarterです。都心部の中でも居住する人も多いエリアでは、騒音がなく、排出ガスの出ないゼロ・エミッションのeCarterは、深夜や早朝の配送に求められる条件に込めることができます。



東京都品川駅周辺のオフィス街で。都心の景観に溶け込むeCarterは、未来に向けて走っています。



FUSO information

都市の諸問題を解決するeCanter 活躍の場が拡大中

国内初の量産型電気小型トラック・eCanterが活躍の場を広げています。

電動で駆動するため排出ガスが一切出ないeCanterは、CO₂低減の課題を解決するだけでなく、従来のトラックと比較して、騒音や振動も少なく、都市内の輸送や深夜、早朝での輸送に適しているため、注目が高まっています。2022年2月から3月にかけても、さまざまな企業や自治体への導入が進みました。三菱ふそうはそれぞれの用途や目的に合わせたeCanterの仕様を提案し、お客様のニーズに応えています。



東京都北区の中外製薬工業株式会社が、雨天時にも製品の品質を損なうことなく運搬できる雨除けを装備したeCanterを導入しました。



新聞の輸送業務を行う東京都荒川区の安立運輸株式会社が、業界の脱炭素化に向けた関心の高まりなどを背景にeCanterを導入しています。



神奈川県厚木市環境センターは国内初となるeCanterによるEVごみ収集車を導入。同市が目指す「循環型都市」を具現化します。



東京都調布市のキューソーティス株式会社は、トプレック株式会社が手掛けた、eCanterでは国内初の庫内乾燥機能付冷凍冷蔵車を導入。



富山県高岡市のトナミ運輸株式会社も、日本トレックス株式会社のキットを使用した国内初となるサイドオープン仕様のコンテナ車を導入。

走った距離でリース料が決まる FUSOマイレージリース

トラックを利用するビジネスでは、走行距離によって売上が変わります。であれば、出ていくお金もそうであるべきでは？ FUSOマイレージリースの料金は、「Km=¥」。走行距離、売上、リース料に連動します。毎月一定の月額基本料金と、前月の実走行距離で変動する変動月額リース料で構成されるため、繁忙期、閑散期、季節要因などお客様に寄り添った車両導入を実現します。三菱ふそうの「トラックコネク」が車両の走行距離を把握し、月ごとの走行距離に応じてリース価格は変動。個々の車両の稼働状況をもとに、金額シミュレーションをご提示します。

ぜひ三菱ふそう販売店までお問い合わせください。

Km = ¥

距離は、金なり

FUSO はもういちど考えました。『距離』と『お金』の関係を。

※詳しくはこちらから



5月26日 1969 [昭和44年]

東名高速全通で日本の大動脈誕生

この日、東京から愛知県小牧市まで346kmにおよぶ東名高速道路が全線開通。4年前に開通していた名神高速道と小牧ICで接続することで高度経済成長とその後の日本の発展を支えることになる日本の大動脈が誕生しました。

日本は第二次大戦前に、ドイツのアウトバーンを参考にした高速道路網の計画を進めようとしていましたが、戦争の激化で調査は打ち切られてしまいました。戦後の復興期に占領政策を担うGHQの求めによる新たな道路行政を始めたものの、当時、日本のほとんどの道路は未舗装な上に、維持管理も行き届いていないため、悪天候で通行不能になることもたびたびだったようです。

道路網の整備は日本経済の発展には欠かせないことから、アメリカの調査会社に道路事情の分析を依頼。まとめられた報告書をもとに高速道路の必要性を訴え、世界銀行からの借入も受けることができるようになり、まず1963(昭和38)年7月、名神高速道路の一部が開通。開通に先立ち5月に行われた無料開放の日には、待ちわびた人たちの車の列ができたと言われています。名神高速道の全線開通は1965(昭和40)年。当時、日本の乗用車の保有台数は230万台でその10年後には1700万台へと増加。そうした流れに合わせるように、1966年には東北道・中央道・北陸道・中国道・九州道の工事が始まり高速道路の整備が進んでいったのです。



6月25日 1960 [昭和35年]

指定自動車教習所制度が始まる

公安委員会が指定した自動車運転教育施設が「指定自動車教習所」です。新規免許取得者のほとんどが利用する指定自動車教習所ですが、卒業すると運転免許取得時の技能試験が免除されます。その制度が始まったのがこの日です。

全国統一の運転免許制度そのものは、1919(大正8)年に自動車取締令によって始まりました。どの車両でも運転できる甲種免許と、特定自動車や特殊車両に限って運転できる乙種免許に分かれ、免許を取得するには自動車を所有していることが条件。さらに5年ごとに再試験を受ける必要がありました。現在の二種免許に相当する業務用免許は1924(大正13)年に甲種乙種とは別の「就業免許」として始まりました。

終戦後の1947(昭和22)年、日本国憲法が施行され、それに伴い施行された道路交通取締法・道路交通取締令によって、指定自動車練習所制度が新設されました。当初は指定したのは公安委員会ではなく各都道府県の知事で、卒業証明書があれば技能試験に加え学科試験も免除されていました。公安委員会による指定、技能試験のみが免除という現在の指定自動車教習所制度となったのがこの日だったのです。6月25日は語呂合わせで「ムジコ」の日ということもあり、各地の公安委員会の定めた基準に適合した指定自動車教習所では交通安全に関連したさまざまなイベントが行われています。



COFFEE BREAK

ゴルフブーム復活？ コロナ禍で変わる働き方や SNS「映え」も後押し

ゴルフブームが復活していると言われています。「今まで見かけなかった若い人たちが増えた」、「ゴルフ場の予約が取りづらくなった」という声がゴルファーから聞こえるようになってきました。

総務省の家計調査(2021年)によると、20代から40代のゴルフのプレー代が増加していて、今回のブームの主演はどうかや若い層のようです。1980年代後半の「バブル」期に大ブームとなったゴルフですが、バブルの崩壊でゴルフ人口は減少。ゴルフ業界には逆風が吹きました。しかし、コロナ禍がそうした状況を変えました。屋外で、ソーシャルディスタンスを保ちながらプレーできるゴルフに再び注目が集まるようになったのです。

また、松山英樹選手の日本人としてはじめてのマスターズ制覇や、次々に若手の実力者が出てくる女子プロゴルファーたちが、さまざまなメディアで取り上げられ、競技としてのゴルフの魅力を再認識させてくれたこともゴルフへの関心を高めたようです。



ゴルフのプレー代はバブル期に比べると驚くほど安くなっています。働き方が多様化する中で、プレー代が安い平日にゴルフを楽しむことができる人が増えたこともブームの追い風となっているようです。

さらに、若い人たちにとって、美しいゴルフ場は「映える」撮影対象がいっぱい。動画をSNSにアップして仲間と共有するなど、ゴルフはSNSとの相性の良さも抜群です。若者向けの、特に女性向けのクラブやウェアなどのファッションアイテムの充実もゴルフ人気を後押ししているようで、ゴルフブームはしばらく続きそうです。

PRESENT

アンケートにご協力いただいた方に、
FUSOオリジナルグッズをプレゼント!



①ティッシュボックス **30名**



③eCaterボールペン&
ブロックメモセット **20名**

②エコバック

10名



④クリアファイル &
eCaterペーパークラフトセット **15名**



応募締め切り

6月30日(木) 当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(発送は7月中旬を予定)

応募方法

プレゼントご希望の方は、下記の方法よりご応募ください。

PCから

<https://onl.la/TuLA64Q>

スマートフォンから



※ご記入いただきました内容は、「FUSO magazine」誌面充実のためにのみ、利用させていただき、ご本人の同意なく、個人情報を第三者に開示することはいたしません。個人情報に関するお取り扱いにつきましては、三菱ふそうトラック・バス のホームページをご覧ください。

トラックが変われば、街が変わる。

We Can Be Better.

いまを走るのに、ふさわしいトラックとは。

排気ガスのない、クリーンな走り。
騒音もなく、ひとの営みに寄りそう。
低振動で、ドライバーにもうれしい。



国内初量産型電気小型トラック
2017年の発売以来eCanterは日本をはじめ
世界中のさまざまな輸送現場で活躍中。

eCANTER

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ



三菱ふそう
公式アカウント



スマホのカメラでQRコードを読み込むだけ！

三菱ふそうトラック・バス株式会社

www.mitsubishi-fuso.com